



団体の概要

概要及び設立時期

日本木材輸出振興協会は、林業事業者、製材等の製造業者、流通業者、輸出商社、森林・木材関係の全国業界組織、自治体等で構成される協議会。日本木材輸出振興協議会（平成16年3月設立）を母体に、平成23年1月26日に設立。

目的

国産材（国内で生産された丸太、加工品及び木造住宅部材等）の輸出を振興するため、

- ① 国産材の輸出拡大に資するための相手国のニーズにあった木材加工技術の調査及び開発等による需要開発
- ② 輸出に関する国内外の関連情報の収集及び調査研究
- ③ 輸出拡大に必要なセミナー、講習会の開催等を実施する。

代表者

会長 山田壽夫

会員

全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会、全国森林組合連合会、JKホールディングス、越井木材工業、協和木材、池見林産工業、ナイス、阪和興業、ポラテック、都道府県 他 **全140会員**※

※令和5年12月7日時点

主な取組

海外における販路開拓活動

- ・ 会員企業を取りまとめて、中国、韓国、台湾等の展示会等に出展
- ・ 海外において日本木材の利用を促進するため、現地関係者向けのセミナーを開催。



中国廈門における展示会
(令和5年10月)



現地関係者向けセミナー（ベトナム・ホーチミン）の様子（令和4年10月）



■ 主な取組（続き）

海外におけるジャパンブランドの確立に向けた取組

- ・ ベトナムに設置している「ジャパンウッドステーション」を拠点とした、日本産木材製品の総合的プロモーション活動
- ・ ジャパンブランドとしての製品輸出表示規程やロゴマークの普及推進
- ・ 製品と技術を一体としたブランドイメージ向上のための現地見学会の開催 等



ベトナム・ハノイにおけるプロモーション活動（令和5年9月）



韓国における現地見学会の開催（令和3年9月）

業界共通の課題解決に向けた取組

- ・ 米国への構造用製材（スギ、ヒノキ）の輸出に向けた米国検査機関での性能検証
- ・ 輸出先国の市場ニーズや規格規制情報の提供を行うため、国内でセミナーを開催



米国検査機関でのヒノキの強度試験（令和3年11月）



国内セミナーの開催（北海道）（令和4年9月）

業界統一規格の策定・普及

- ・ 中国向け製材輸出標準や米国市場向け高付加価値フェンス材輸出標準の策定

輸出ターゲット国の市場・規制調査

- ・ 中国、韓国、台湾、米国における木材需給や日本産木材の利用実態・ポテンシャル、住宅用構造材に求められる品質基準等を調査
- ・ インドの木材市場調査 等